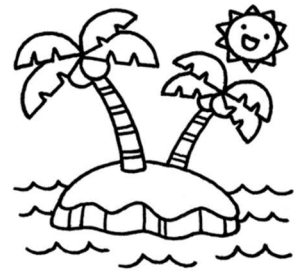




2022年度 8月号

ぞうぐみだより

尚徳福祉会生麦保育園



真夏の日差しが園庭を照り付け、もうしばらく暑さとお付き合いが続きそうですが、ぞう組の子どもたちは毎日元気いっぱい！リレー遊びやドッチボールなどの集団遊びにもすっかり慣れて、みんなで楽しんでいます。体調に気をつけながら水分補給と休息を十分にとり、暑い夏を乗り切りたいと思います。



マーブリングに挑戦

うちわ制作でマーブリングに挑戦しました。試作を作っている私の姿を見ると「何してるの」「やってみたい」と興味津々。やりたいと言う子が多かったので、その場で取り掛かることにしました。好きな色のインクを垂らし、息を吹きかけて柄を調節。うちわを勢いよく水面に浮かべてしまい「失敗した」と顔が強張る子もいましたが、見てみると綺麗に色が付き子どもたちもニコッと嬉しそうな表情。一人一人違ううちわの柄を見ると「みんなちがって、いいね」とお互いのうちわを見て褒め合っていました。8月に持ち帰る予定ですので、おたのしみに！



遠足ごっこ

22日のバス遠足が延期になり、急遽遠足ごっこに変更となりました。「お弁当と水筒持ってきてね」と伝えると「やった！」と大喜び。みんなで一緒に食べる給食も大好きな子どもたちですが、やっぱりおうちの方が作ってくれた愛情たっぷりのお弁当もとても嬉しかったようでした。遠足への予行練習も兼ねて、生麦消防署までにこここマングループで向かいました。初めの頃は名前も覚えていない子が多かったのですが、今回は3回目の集まりということもあり、年長児らしく「手伝ってあげる」と水筒の肩掛けひもをやってあげたり、歩く速度を合わせてあげたりと優しく接してくれました。10月の遠足に向け、どんどんたくましくなっているぞう組です！



～カブトムシ&クワガタがやってきた～

ぞう組にカブトムシとクワガタがやってきました。「どこからきたの!?!」「なんできたの!?!」と大興奮。さっそくクラスにある図鑑を開き、本物と見比べていました。お家で飼っている子も数名おり、「添木は蓋の近くに置いたら逃げちゃうよ」「ゼリーは離して置いた方がいいよ」とたくさん知識を教えてくれ、とても勉強になった担任でした。「黒田先生カブトムシ触れる?」となぜか毎日聞いてくる子どもたち。。「クワガタは触れるよ」と言うと「クワガタじゃなくてカブトムシ触ってよ」となぜかカブトムシを推してくるぞう組。毎度毎度言われ続けたこともあり、子どもたちのおかげでカブトムシも触ることができるようになりました。ゼリーの交換や飼育カゴ内の掃除など積極的に手伝ってくれ大事に大事に観察していましたが、クワガタが19日に1匹亡くなると、登園してすぐに気が付いた子どもたちは「かわいそう」「くるしかったよね」と悲しそうにしていました。命が亡くなってしまったことはとても悲しい出来事でしたが、今回の件で更に身近な生き物に対して優しい気持ちで関わろうとする姿が見られるようになりました。今後もその気持ちを忘れずに成長して欲しいです。

おしらせ

- 体調がすぐれない時は発熱症状が見られていなくてもお家で過ごし、体調が整ってからの登園をお願いします。
- 降園時、玄関やタイムカード付近の混雑がありますので、保護者の方がお迎えに来られましたらすみやかな降園をお願いします。
- 遠足ごっこのお弁当、水筒の準備ありがとうございました。

